

(公社) 全国学校栄養士協議会会長賞

『給食で世界旅行』

福島県会津若松市立謹教小学校 五年二組 男子 野中 悠人

ぼくは、世界をめぐる旅に出た。五月十六日、となりの国かん国。かん国ではビビンバ、トックスープ、チヂミ、かくてきを食べた。ビビンバには野菜がたくさんのおいてまぜながら食べた。ごま油の風味もあってとてもおいしかった。かくてきは、キムチ味のきゅうりと大根でからいのが苦手なぼくでおいしく食べられた。六月十三日、ロシア。ロシアでボルシチを食べた。赤いボルシチに白いクリームを入れることが変わっているなど思った。

ぼくの学校の給食では、「世界グルメツアー」といって世界のいろいろな国の料理を出してくれる日が一月に一度くらいずつある。ぼくはその日をあげパンの日の次に楽しみにしている。食べたことが無いような料理が毎回出るからだ。その国はどこにあるのかなあ、どんなところなのかなあ、といういろいろ考えながら食べている。その国に行ってみたい気持ちになる。

七月十一日、エジプト。ピタパンとモロヘイヤスープを食べた。エジプトの王様は、モロヘイヤスープを飲んで病気を治したと言うことを給食の先生に教えてもらった。十月三十日、アメリカ。ジャンバラヤとクラムチャウダーの組み合わせは、最高だった。おかわりをした。一月二十五日、タイ。ぼくは小さいころタイに住んでいたことがあるのでタイのことはよく知っている。この日に給食に出たガパオライスとトムヤンクンは、とても有名なタイ料理で、タイ人もよく食べる料理だ。本場のガパオライスはとうがらしがたくさん入っていてとてもからいけど、給食のガパオライスは食べやすいようにカレー風味になっていた。少しちがうなと思ったけど目玉焼きをのせて食べるところはにっていた。給食のしよいかいの時に、来年の東京オリンピックで会津若松市がタイのホストタウンになっていると知った。ぼくが住んでいる街にタイ人がたくさん来るかもしれないと思うとわくわくする。タイ人を見かけたら、

「サワディカップ！」

と言って声をかけたい。

ぼくの世界の味をめぐる旅はまだまだ続く。これからどんな国の料理を食べられるのか、とても楽しみだ。ぼくが一番食べてみたい料理は、スペインのパエリアだ。